



最優秀賞に選ばれた金津高新聞部が発行する「金高新聞」

# 金津高2年連続最優秀

## 県学校新聞コンクール

### 特別号や発行頻度評価

県内高校の新聞部が活動の成果を競う「第52回県学校新聞コンクール」(福井新聞社、県高文連新聞部会共催)の審

査会が27日、福井新聞社で開かれた。最優秀賞には、発行頻度が高く、部活動の具大会優勝など注目話題に特別号



で素早く対応した金津高新聞部が2年連続で選ばれた。高校生の新聞づくりへの意欲や技術を高めようと、毎年開いている。今年も5校の応募があり、敦賀工高の木戸聡教諭、福井新聞社の伊与登志雄報道センター長ら4人が▽記事の充実度▽発行頻度▽レイアウトの見やすさ▽などを基準に選んだ。

金津高新聞部は昨年12月から今年10月までに、定期発行の「金高新聞」や壁新聞形式の「まにまに」など手書きを含む計41号を発行し、学校の情報をきめ細かく紹介。野球部の県大会初優勝では、特別号を連続発行し部員の喜びや応援席の様子を伝えた。1年時のみ履修する3教科を取り上げた「楽しい三ツ星」や「きょうだいde(で)金高生」、校内地図、部活動紹介など、生徒に身近なテーマを数多く記事にした点も評価された。

優秀賞は美方高、奨励賞は鯖江高が受賞。特別賞(努力賞)に武生商高が選ばれた。表彰式は12月11日、福井新聞社で開く。新聞は12月15日に本社エントランスホールで展示する。(大久保直輝)